

社 会

社会科は単に記憶すればよい教科だと思われがちですが、それでは学習が楽しくありません。また、資料の読み取りや物事のつながりを考えさせる問いも増えてきています。原因や結果を筋道立てて考えていくことで、興味がわいたり、現在の私たちの暮らしのなかに学んだことを生かしたりすることができます。そうすることで記憶にもとどまりやすくなります。そういった点を意識して、学習に取り組んでみてください。

○社会の家庭学習の留意点

- 1 授業の復習をしよう
 - ・その日学校で学習した内容についての問題集に取り組む。
答え合わせを必ず行う。
 - ・サブノートづくり（自分でノートにまとめ直す）
- 2 用語の確認をしよう（教科書の太字部分、ノートのカラーの部分）
 - ・一問一答式の問題集に取り組む。
100点を取るまで何度も何度も取り組む。
 - ・単語帳を利用するのも効果的。
- 3 問題集で総仕上げをしよう
 - ・資料の読み取りや文章問題など、間違ったところは見直す。



—— 地理学習のポイント ——

- ・地図に慣れ親しむ機会をたくさん持ち、何でも地図帳で確認しよう。
- ・図や資料を読み取る機会を増やし、分からないときは先生や友達に解説してもらおう。
- ・世界の出来事に興味をもとう。テレビの近くに地図や地球儀などを置き、興味のある国、地域を調べてみよう。

—— 歴史学習のポイント ——

- ・出来事が起こった流れを理解しよう。
「原因」「内容」「結果」で出来事をとらえよう。
- ・年表に慣れ親しみ、大きな「歴史の流れ」のなかでとらえよう。
年表を自分でつくり、出来事の流れを理解しよう。
特に外国の出来事は、日本の歴史とセットにして覚えるようにしよう。

—— 公民学習のポイント ——

- ・用語の意味をきちんと理解して、完璧に覚えよう。
- ・話題になっていること、ニュースを知っておこう。
ニュースを観たり新聞を読んだりする習慣がつくと、公民の授業に興味をわきやすいため意識して情報をキャッチしよう。